



## 書評：「独ソ戦」

書店で平積みになっている「独ソ戦」(大木 毅・著 岩波新書)を手にとってみた。第二次世界大戦で一番人的被害があった国はソビエトと知り、その詳細確認のため読んでみた。独軍が越境した後は、只殺戮が続き、戦争映画のような展開には驚くばかり。独ソ不可侵条約があるにもかかわらず、侵略してきたドイツ軍。日ソ不可侵条約があるにもかかわらず越境してきたソビエト(ただし、満州は日本だったのか?)不可侵条約とは無意味なものか、と疑問が残る。

また、ゲルマン民族がスラブ人を奴隷化しようと戦争を始めたのは、日本が中国・朝鮮を蔑視して戦争を続けたのと似ている。やはり戦争の起因の一つは民族差別が大きいと思う。今の日本は?

(梅丘1丁目・湯沢 勉)

## 集会等の紹介

~~5月3日(日) 11:00～ 許すな!安倍改憲発議 2020 平和といのちと人権を!5.3 憲法集会~~

~~5月16日(土) 午後1:30～ 「憲法記念日によせて」のつどい(計画中)~~

以上の集会は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、いずれも中止されます。

6月15日(月) 午後6:30～ 九条の会東京連絡会6・15大集会

『戦争する国』ゴメン。——安倍改憲発議NO! 憲法が輝く東京へ変えるのはあなた——

講演:①五十嵐 仁さん(法政大学名誉教授)

②小森 陽一さん(九条の会事務局長・東京大学名誉教授)

③都知事候補(予定)

音楽:ドロール・サクソフォン・カルテット

会場:としま区民センター・多目的ホール(各線「池袋駅」東口より徒歩7分)

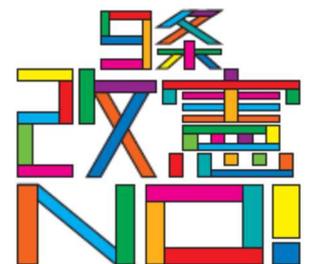
参加費:一般999円 学生500円

障がい者手帳・生活保護受給者証をお持ちの方は無料

主催:九条の会東京連絡会

## 日本国憲法(抜粋)

前文 日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたつて自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基くものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。



日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めてゐる国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ。われらは、全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認する。

われらは、いづれの国家も、自国のことのみに専念して他国を無視してはならないのであつて、政治道徳の法則は、普遍的なものであり、この法則に従ふことは、自国の主権を維持し、他国と対等関係に立たうとする各国の責務であると信ずる。

日本国民は、国家の名誉にかけ、全力をあげてこの崇高な理想と目的を達成することを誓ふ。

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～  
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++